

職場体験感想文コンクール2025

タイトル	思いやり的心	事務局	3-26
学校名	酒田市立鳥海八幡中学校	氏名	伊藤 蒼

僕は、エスグリッドという自動車整備屋さんに行ってきました。

親が車好きということもあって、僕も車が好きで、職場体験の候補が載っているアンケートで第一候補を車にしました。体験日が迫るにつれて僕の好奇心が段々と上がっていくのが分かりました。1日目はエスグリッドの人と自己紹介やその職業の質問コーナーをしました。その人に質問をしていく上で、毎度熱意のある意見を話してくれて本当に車のことが好きだという思いが伝わってきました。さっそく作業着のツケギに着変えて車の車検整備をやりました。どこを見るかという点検の箇所が書いてある紙を順番に見て悪い所を確認していくのですが大変な事があります。それは点検の数が少ないことや部品の量が多いすぎるのです。一つ見るだけでも数十分はかかるようなことが五十箇所あって大変でしたが、悪い所をもし見逃してしまうと、運転中に部品が外れたり、壊れてしまうといけないので集中して点検しました。エスグリッドの人はとても優しく接してもらい、僕達が「ここはどうすればいいのかな?」と悩んでいたなら「どうしたの?」と聞いてくれたので気軽に話せました。

あとという間に昼になって昼休憩をしているとエスグリッドの人が車のオークション(競り)を見せてくれました。このオークションの楽しいことはインターネットで見れることで全国各地の車がオークションに出され、全国の人達が車の値段を上げていき、その車の最終的な値段がどうなるのかを見られてどうなるのかというワクワクがありました。昼休憩が終わり午前と同じように車検整備の続きをしました。

車の後輪部分に異常がないかとタイヤを外し、見ると、ブレーキを踏むために必要なブレーキパッドという部品が擦り減ってしまっていました。新品のブレーキパッドに取り替えてまたタイヤを付け直しました。一人一人一つの車を全力で取り組み、また乗ってもらうというのにはすごくやりがいがある職業だと思いました。自分が趣味のあることを職業にして、楽しく協力しながら働くというのはいいと感じたので僕が大人になり職人に付くとしたら

このような人の役に立つ仕事をしたいです。二日目も体験場所に歩いて行くのですが、その道一本道でその周りが一面お米が黄金に輝いていて朝な夕なで清々とした感じかととてもよくて、気持ちも<sup>おたげ</sup>かになりました。二日目は昨日の車の最終確認をして、その車を実際に乗って車検場に行って車検をもらうという体験をしました。車に乗って走るとエスプレッソの味が、「君たちか一生懸命直してくれたからこうして走れるんだよ」と言ってくれてまた喜くなりました。僕は感謝に弱いのです。車検場に着くと車倉のような所に多くの車が列を作っていました。そこには運転手の人と作業員の人しか入れないので僕は外で窓から中をのぞきながら見ました。中では1つ1つの機能を見ていくように進むと違う点検を繰り返していました。例えばタイヤの取り受けや部品が壊れていないかなどを一つ一つ作業員さんが手作業を見て、見外しは許されないことだから大変だと作業を見て感じました。車の点検が終われば次は違う建物の中に入って手続きをして、さっきの車の点検で問題が無いでばと照明指示を出して初めて車の車検をもらうことができるのです。大変だけど車の点検をしないと自分も相手を傷つけてしまうから面倒くさくてちゃんとして点検は行きたほうが良いと思いました。僕はこの車検場で車の税があることを知りました。さらにその車の大きさによって税の量も違うのかも知りました。でも国を維持するために必要なことだと分かっている中で大きさで税が左右されるのが不思議に思いました。職場に戻り、昼ご飯を食べて、午後からは僕達が点検した車の外装をきれいに掃除をしました。傷をつけないようにタオルで優しく拭いて見違えるほどにきれいにしたところで帰る時間になってしまい、2日間の体験も終わりました。あ、という間のおうが長いような体験でした。この職場体験を通じて僕は車を修理する楽しさと、しかりしないと人が傷ついてしまうという責任の重さを肌で感じたから知らなかったことを知った2日間でした。大変な仕事だったけどやりがいも最高にあつたので未来の自分の職の幅が広がったと感じました。この経験を家族や友達に話して車やこの職のすばらしさを伝えてみたいと思いました。